

12

つくる責任
つかう責任



ぴったりクッキング！

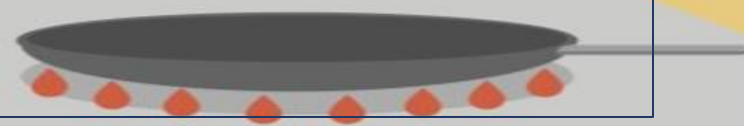
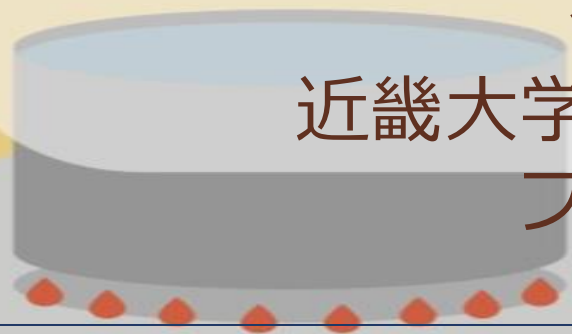
カカオ消費ガチ勢

平岡 木下 大谷 岸本 中山

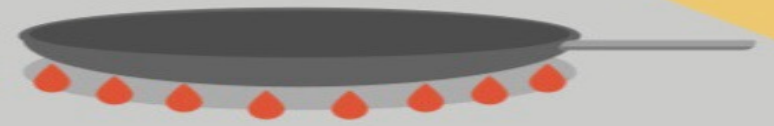
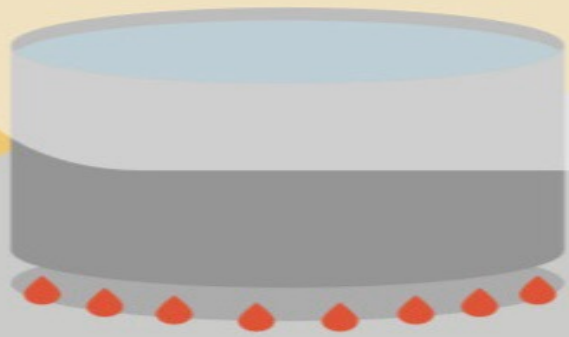
発表日2025.01.15

近畿大学文芸学部文化デザイン学科

プロデュース学特論Ⅲ



趣旨・遊び概要





つくる責任、つかう責任

“生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守るよう、責任ある行動をとろう”

(例) 世界で生産されている食品の約3分の1 (13億トン) が捨てられています。

日本の学校の給食でも、児童や生徒1人あたり、1年間に約7.1kgの食べ残しがあります。



資源の無駄遣い、食品ロス、ごみを減らし、リユース・リサイクルをすすめて、資源も仕事も生産も消費も持続可能な世界を目指す。

食品ロスに注目

→適切な具材の量を覚えられるゲームにすれば楽しめながら学べて、食品ロス削減へ繋がる1歩になるのではないかと?



思い

- ・このゲームをすれば人数分の適切な量を学べるので自炊するとき、多く作りすぎて捨ててしまうことも、少なすぎてミスする事も減らせるはず。

- ・レシピを自然に覚えられるかも!!

- ・ぴったりだと人に提供できるが量をミスすると冷蔵庫やゴミ箱行きになるようにして目に見えて勿体ないを実感できるように。

- ・楽しみながら学べてラッキー！



つくる責任
つかう責任



カードゲーム

カードに書かれた料理と材料、食べる人数からちょうどいい分量を想像して材料を出し合い料理を作る予想型カードゲームです

材料は多すぎても少なすぎてもいけません

協力して「ぴったり」な量を目指します



ぴったりクッキング

推奨人数 4~5人

このゲームは、カードに書かれた料理と材料、食べる人数から、ちょうどいい分量を想像して材料を出し合い料理を作るゲームです。材料は多すぎても少なすぎてもいけません。協力して「ぴったり」な量を目指します。

事前準備

料理カードとシチュエーションカードをそれぞれシャッフルします。二つの山札をつくり机の真ん中に並べましょう。

料理カードは裏に答えが書いてあるので、まだ見ないでください。

ゴミ箱ゾーンと冷蔵庫ゾーンを片方の机の端に並べます。

順番決め

ジャンケンで勝った人が親です。ゲーム中は親がずっとターンごとに料理カードと調理カードを1枚ずつめくりましょう。

買った人から時計回りに1、2、3、4、5と番号を割り振ってください。

その番号が、料理する際にあなたが担当する材料を決めます。

あそびかた

①最初に親が2つの山からカードを引きます。引いたカードは1ターン共通で使います。

②料理カードで、自分たちがつくる料理を確認します。振られている番号の材料をそれぞれ担当しましょう。

③シチュエーションカードをみて、料理の分量を予想しましょう。

グラム表を見て、答えの分量はグラムに換算して考えてください。

シンキングタイムは1分です。

④紙にそれぞれの材料の分量の予想をgで答えましょう

⑤料理カードの裏を見て答えを確認しましょう。

誤差が20g以上ある人が

3人以上の場合▶料理失敗！ゴミ箱ゾーンに料理カードを入れます。

2人▶冷蔵庫ゾーンに料理カードを入れます。

1人▶料理成功！机の中央に置いておきましょう。

0人▶ピッタリクッキング成功！冷蔵庫ゾーンから、カードを復活できます。

机の中央に置いておきましょう。

5回のターンの間に料理カードをなるべく多くムダにせずに集めましょう！